

「命について考える日」 校長先生のお話・運営委員会のお知らせ

校長先生から、皆さんに大事なお話をします。給食を食べていても構いません。給食の準備をしていても構いません。良い姿勢で、真剣な気持ちで聞いてくれるとうれしいです。

今日は、「命について考える日」です。

今から10年ほど前の6月、浜松市のある学校でいじめが起きて、つらく悲しい思いをした人がいました。つらい思いをする人が二度と出ないように、浜松市では、「命について考える日」を、すべての学校で行っています。

今日からこの1週間は、自分の命や周りの人の命について、じっくり考える1週間にしていきます。

皆さんは、この世界に人間という命をもって生まれました。犬やネコでもなければ、アリでもなく、植物でもありませんね。皆さんは、人として生まれたことを当たり前のように思っていないですか。でも、校長先生は、奇跡だと考えています。ですから、人として生まれた皆さんができること、しなければいけないことは、自分と周りの人の幸せを考えて、共に生きるということです。

この1週間は、「命はどれだけ大切なものなのか」「自分や周りの人の命を大切にするには、何をすればいいのか」を、じっくり話し合う1週間にしてください。

校長先生のお話の後、6年生の運営委員会が、皆さんに、運営委員会の取り組みを説明してくれます。説明をよく聞いて、クラスで話し合ってみてください。

運営委員会からのお知らせ

しのささっこの皆さん、こんにちは。運営委員会からお知らせします。

6月12日（月）～20日（火）に、「つなげよう広げよう SHGs 思いやり・助け合い」について考える企画を行います。

皆さん、6月12日は「命について考える日」です。そこで、今週は、命の大切さについて向き合い、学級で「思いやり」と「助け合い」の大切さについて考える1週間にしましょう。

皆さんに取り組んでほしいことは2つです。

1つ目は、運営委員会が作成した、「SHGs 思いやり・助け合い」動画を見てください。動画では、学級で話し合い、考える場面があります。

2つ目は、各クラスに配ったハートの画用紙に、各クラスの「思いやり・助け合い宣言」を書いてください。すべてのクラスの宣言を、図書室前の児童会掲示板に掲示します。詳しくは、運営委員会だよりを見てください。

